

【B年】

主イエス命名の日

全能の神よ、あなたはみ子に割礼を受けさせ、わたしたちの救いのしるしとして、イエスと名づけられました。どうかこのみ名によって、み民に力と平安を与え、その尊いみ名をすべての国に宣べ伝えさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書は出エジプト記第三四章一節から」

1 主はモーセに言われた。「前と同じ石の板を二枚切りなさい。わたしは、あなたが砕いた、前の板に書かれていた言葉を、その板に記そう。2 明日の朝までにそれを用意し、朝、シナイ山に登り、山の頂でわたしの前に立ちなさい。3

だれもあなたと一緒に登ってはならない。山のどこにも人の姿があつてはならず、山のみもとで羊や牛の放牧もしてはならない。4 モーセは前と同じ石の板を二枚切り、朝早く起きて、主が命じられたとおりシナイ山に登った。手には二枚の石の板を携えていた。5 主は雲のうちにあって降り、モーセと共にそこに立ち、主の御名を宣言された。6 主は彼の前を通り過ぎて宣言された。「主、主、憐れみ深く恵みに富む神、忍耐強く、慈しみとまことに満ち、7 幾千代にも及ぶ慈しみを守り、罪と背きと過ちを赦す。しかし罰すべき者を罰せずにはおかず、父祖の罪を、子、孫に三代、四代までも問う者。8 モーセは急いで地にひざまずき、ひれ伏して、9 言った。「主よ、もし御好意を示してくださいますならば、主よ、わたしたちの中にあつて進んでください。確かにかたくなな民ですが、わたしたちの罪と過ちを赦し、わたしたちをあなたの嗣業として受け入れてください。」

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第八編 一〜八節

- 1 わたしたちの主、神よ、みなはあまねく世界に輝き＝
- 2 その栄光は天にそびえる
幼子と乳飲み子は賛美を歌う＝
刃向かう者、逆らう者を
鎮めるため、あなたは敵に備えて砦を築かれた
- 3 あなたの指の業の大空を仰ぎ＝ あなたがちりばめた月と
星を眺めて思う
- 4 人とは何者か、なぜ、これにみ心を留められるのか＝
- 5 なぜ、人の子を顧みられるのか
あなたは人を神に近いものにし＝ 栄えと誉れの冠を授
け
- 6 み手の業を治めさせ＝ すべてをその足もとに置かれ
- 7 羊も牛も、野の獣もことごとく＝ 空の鳥、潮路を泳ぐ
魚の群れも
- 8 わたしたちの主、神よ＝ み名はあまねく世界に輝く

使徒書

朗読者 「使徒書はローマの信徒への手紙第一章一節から」

- 1 キリスト・イエスの僕、神の福音のために選び出され、召
されて使徒となつたパウロから、――2 この福音は、神が既
に聖書の中で預言者を通して約束されたもので、3 御子に關
するものです。御子は、肉によればダビデの子孫から生まれ、
4 聖なる靈によれば、死者の中からの復活によって力ある

神の子と定められたのです。この方が、わたしたちの主イエ
ス・キリストです。5 わたしたちはこの方により、その御名
を広めてすべての異邦人を信仰による従順へと導くため
に、恵みを受けて使徒とされました。6 この異邦人の中に、
イエス・キリストのものとなるように召されたあなたがたも
いるのです。――7 神に愛され、召されて聖なる者となつ
たローマの人たち一同へ。わたしたちの父である神と主イエ
ス・キリストからの恵みと平和が、あなたがたにあるように。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。
ここで聖歌を歌う。

福音書

- 司祭 「主は皆さんとともに」
会衆 「また、あなたとともに」
司祭 「聖ルカによる福音書第二章十五節以下に記された主
イエス・キリストの福音。主に栄光」
会衆 「主に栄光がありますように」

- 15 天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、

ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話し合った。16 そして急いで行って、マリアとヨセフ、また飼い葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。17 その光景を見て、羊飼いたちは、この幼子について天使が話してくれたことを人々に知らせた。18 聞いた者は皆、羊飼いたちの話を不思議に思った。19 しかし、マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた。20 羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて天使の話したとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。

21 八日たつて割礼の日を迎えたとき、幼子はイエスと名付けられた。これは、胎内に宿る前に天使から示された名である。

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」